

## 第2学年 学年通信『夢』第3号（通算14号）



### 保護者の皆様へ

長い休校期間が終わり、分散時差登校ではありますが、学校が再開されました。前号の学年通信でも記述しましたが、ご家庭においては大変なご苦労をなさったかもしれません。何かとご不安なこともあったかと思えます。まずはここまでの本校の進め方にご理解、ご協力していただいたこと、誠に感謝申し上げます。また、このように再開が出来たことは様々な方々のご支援があったからこそだと感じております。担任一同、重ね重ね感謝申し上げます。

我々の課題として浮き彫りになったことの一つに、連絡手段が挙げられます。連絡方法として「本校ホームページ」、「Classi」、「学校携帯メール」にて連絡させていただきましたが、なかなか行き届かなかったこともありました。私としても Classi の校内グループという掲示板に投稿を試みましたが、2年生への確実な情報伝達には繋がりませんでした。学校としていざ使ってみたときに、システムに不具合が生じてしまったことも原因であります。この課題に向き合い、反省を生かして、第2波、第3波が来たときでも、確実に情報発信が出来るように目指してまいります。伝わらなかった部分に関して、お詫び申し上げます。

さて、6月2日（火）久しぶりに生徒は登校しました。私もドキドキしてこの日を待っていました。私とはいうと、外であれ密を避けるためにということ、生徒に会いたいという気持ちが先立ち、朝と昼に北久里浜駅からの通学路となっている湘南橋（マツダ前）へ交通整備に行きました。「おはよう」と挨拶すれば、全員「おはよう」と返事をしてくれました。何人かの生徒とは一言二言話をすることができました。このような何気ない日常のやり取りが、今はとても嬉しく感じています。校舎へ戻れば、休憩中には元気な姿が、オリエンテーション中には静かに集中して話を聞く姿が見られました。本音を言えば、オリエンテーション中は、生徒同士のコミュニケーションも兼ねてほしいのです。しかし、そこは座席をあける形でソーシャルディスタンスを保ちつつ、基本的には前を向いた形で行っているため、残念ながらできてはいません。これからの情勢を見つつですが、せっかくの新クラスですので、クラスとしての団結を少しずつ考えていけたらと思っています。

また、「生徒個人面談のお知らせ」を配布させていただきました。このように長い時間自粛する経験が、生徒やご家庭だけでなく我々教職員も初めてのことです。その中で私達も勉強、進路、新しい学校生活について心配を感じることもありました。新しい学校生活をスタートする上では必要不可欠なことで学校でも考え、個人面談をすることに決定致しました。生徒の心のケアは当然のこと、勉強、進路などに関する不安を持っている生徒は少なくありません。このような時期に、電車やバスなどで登校する生徒は通学回数が増えることを心配するかもしれません。そのようなことがあれば、その旨を担当へお伝えください。後日、対応させていただきます。この面談は基本的に生

徒と担任と行うものとなります。保護者の皆様には別途、保護者会を準備いたします。早急に伝えるべきことがある場合は「生徒個人面談のお知らせ」の通信欄に書いていただき、担任にご相談ください。よろしくお願い致します。

今週より再スタートとなります。今後ともご家庭との連絡を密に取り、生徒にとって有意義な高校2年生が過ごせるように尽力して参りますので、ご協力のほど承りたく存じます。よろしくお願い致します。6月に入り、暑くなってくる季節です。体調にはくれぐれも気をつけてお過ごしください。

※バックナンバーは本校ホームページか Classi の校内グループに掲載されています。紙で欲しい方は担任へお申し出ください。



## 休校期間中の学習記録のまとめ！～これからの参考にしましょう！～

### 【コース編】

学習記録 【4/10～5/31】	ST	選抜 ST 文系	選抜 ST 理系	AD 文系	AD 理系	国公立 AD
1日学習平均時間	56.2分	69.4分	97.1分	107.0分	135.9分	208.8分
何を勉強した？ 上から勉強時間の 多い順	数学	英語	数学	英語	数学	数学
	英語	国語	理科	国語	理科	英語
	国語	地歴公民	英語	地歴公民	英語	理科
	理科	理科	国語	数学	国語	国語
	地歴公民	数学	地歴公民	理科	地歴公民	地歴公民

※国公立 AD クラスは、基本的に受験科目が 5 教科 7 科目なので文系理系を一緒にしています。

自分が勉強してきた教科と比べてどうでしょうか？出された課題量や文系・理系、得意科目・不得意科目など、自分で勉強するものは人と違って当然だと思います。上記の表はあくまでも参考や基準にするものと思ってください。

例えば、この表を基準としてみます。各コースの上位に入っている科目は、授業がスタートしたときにスムーズに理解して出来る科目となる可能性がありますと考えられます。もし、このような科目をあまり勉強してこなかった、課題が終わらなかったということであれば、授業が始まるまで今週時間があるから勉強をしておくといいでしょう（提出すべき課題が終わっていないということの無いようにしてください）。逆に、勉強時間の少ない科目を多く勉強してきた生徒は、大きな差がつけることが出来る可能性があります。周囲が不得意で困っていることがあれば、助けてあげることが出来るかもしれませんね。このように表を一つ見るだけでも、考えようによってはいくつも読み取れることがあります。みんながこれから求められる力の1つはこういうことです。データから読解できることは何か。これからも、みんなには参考になるようなデータを作成して見てもらいますので、**自分に必要な分析をしっかり出来る**ようになっていきましょうね。

ちなみにひとくくりに「勉強」といっても、私は2種類に分けることができると考えます。「与

**えられた課題の勉強」か「自らの課題点を克服するまたは得意を伸ばす勉強」か。どちらも大事な勉強で、前者は「最低限、ここまでは出来るようになるための勉強」、後者は「自分の目標・目的を達成するための勉強」です。どちらを多くしてきましたか？**

【個人別編】※合計学習時間の多いトップ5！

コース	合計学習時間	入力日数	1日平均(約)
国公立AD	17405分 = 290時間5分	51日	341.3分 = 5時間41分
AD	17270分 = 287時間50分	52日	332.1分 = 5時間32分
ST	16095分 = 268時間15分	49日	328.5分 = 5時間28分
選抜ST	15570分 = 259時間30分	45日	346.0分 = 5時間46分
国公立AD	14725分 = 245時間25分	52日	283.2分 = 4時間43分

学年通信第2号と同様にまとめました。**本当によく頑張りましたね！とても素晴らしいです！何に**  
**対しても集中して進めることが出来ることは素晴らしい能力**だと思います。前号にも記載しましたが、  
休校期間中は様々なことに取り組んだと思うので、「学ぶこと」のすべてがこの教科の勉強ではありません。その様々な活動の中で学んだこともたくさんあると思います。例えば、この自粛期間の経験は社会の動き、衛生面の事など、報道を通じて学んだことがあると思います。または、未知の分野を自分の将来を考えた人もいるかもしれません。これはその一部かもしれませんが、**先のことを考える基礎力として育むために学校の勉強がある**とも考えられます。受験勉強で難しい問題を解くための勉強だけでなく、この先、生き抜くための力の土台を固めていると。こう考えると自分を律して土台固めをしてきた生徒たちは、**将来のための自分に大きな投資**が出来たのではないかと思います。だから、とても素晴らしいのです。もし、この休校期間中に自分で納得できるような生活ができなかったと思っている生徒はこれからでも取り戻せます。高校3年間で考えると36ヵ月分の3ヵ月は大きな時間です。人生80年(今は100年?)と考えると、その中の3ヵ月は大きな時間であることは変わらないのですが、その自分の人生の中の<sup>※1</sup>モラトリアム期間としてとらえることもできます。誰でも、そういう期間が多かれ少なかれあると思います。私の経験則で書いていて申し訳ありませんが、少なくとも私にはありました。しかし、**この期間が長くなってしまふのはまずい**と思います。どこかで大人へと成長をしていかなければなりません。学校再開をそのきっかけにしましょう。ここからリスタートをすべきです。また、我々と共に成長の歩みを進めていきましょうね。

※1 心理学的な意味で使っています。「大人になるための準備期間」。一般的には「大学生」や「大学院生」(18歳から22歳前後)を指します。



## 永井の雑感～小論文模試に向けて、私も小論文書きました～

みんなが小論文チャレンジノートを休校期間中に取り組んでいる様子を Classi で確認していたので、私も「働くこと」について書いてみました。私の担当教科は数学ですが、小論文を書くことは嫌いではありません。社会人になって論文を書いたこともあります。次の小論文が参考になるかわかりませんが、時間のある時に読んでみてください。

働くとは「人間的、社会的または国が豊かになる」ことである。しかし、現状では「働くことはお金を得ることか」という質問が浮上する。私はこの質問が存在することがそもそもおかしいと考える。なぜこのような疑問が浮上するのかを考えてみる。

近代の資本主義が誕生したとき、そこには美しい理想のようなものがあつた。経済学者アダム・スミスは『国富論』の中で、豊かになること、そしてどんなに競い合っても、人々の中に道徳が存在する限り、不平等や不均衡は生じないことを期待すると述べている。

しかし、現実には手段を選ばぬ不公平な競争と、苛烈な富の偏りを生んでいくことになる。そこには、異様なほどに傲慢で、魂を失ったような思考が生じていた。このように動いてきた時代から現代の「グローバルマネー」の時代、国境を越え、この地上のいたるところにネットワークを張りめぐらし、巨大なお金だけの利潤をもたらすことになる。これが、「労働の報酬」のような意味を離れて「お金」として独立してしまう。もともとは「お金のために働いていたわけではない」人々も、次第に「お金のために働く」ようになり、果ては「お金が回れば回るほどお金が増えていく」ようになる。だからこそ、資本主義を見つめ直し、世の中を精査していくべきである。

以上の理由から、働くとは自分の興味関心のあることを仕事とすることで人や社会に貢献し、人間的、社会的な豊かさを目指すべきと考える。(598字)

※小論文模試でこのまま書かないように！

## 編集後記～紙媒体では第1号です～

学年通信は今年度第3号となります。紙媒体では第1号目ですね。ぜひ、バックナンバーも見たいです。この学年通信は思い出でもあります。バックナンバーを読み返すと「あー、この時期の生徒たちはこうだったんだ」と思い出します。みんなもそのときのことを思い出すかもしれませんね。今回は休校期間ということもあり、私の教員人生の中でも忘れられない日々を過ごしています。今年度発行した第1号と第2号はあえて紙媒体で保存しないでおうと思えます。抜けているのも思い出です。さあ、振り返ってばかりもいられません。時は進み、その時は戻りません。これから起こりうることを想定しすぎても進みません。理系でいうとトライ&エラーです。何度も試して、失敗しては試して、成功を得ていく。Classiの校内グループには2度書きましたが、最後にここにも書いておきます。私のお気に入りの言葉です。

映画「Back to the Future」のドクのセリフです。

**「Where we're going, we don't need roads.」**